

千葉県生涯学習推進方針（案）に関する意見募集結果

No.	意見の概要	意見に対する県の考え方
1	「（２）生涯学習の状況」P.3～P.6に掲載されているアンケート調査や世論調査結果について、母集団の数が記載されていないため、アンケート等の信頼性がわからないと思いました。	母集団の数を記載します。
2	第2章3（１）ア②市町村に期待する役割の中で「公民館や図書館において、キャリア形成や基礎的なビジネススキル等の講座や専門書籍を活用した学びが提供されることを期待します」とありますが、「職業上必要な知識等を習得する学び」を提供するには、専門的な学びを特定の受講者に対して継続的に提供する必要があります。公民館では「きっかけづくり」を目的とした単発の事業は可能ですが、就業に繋がる継続的な事業を実施するためには多くの課題があると考えられます。	市町村の公民館や図書館で行う「職業上必要な知識等を習得する学び」は、県としても「きっかけづくり」を目的とした学びが提供されることを期待しています。就業に繋がる継続的な学びを求められる方には、今後、県が設置予定の「学びの総合窓口」に繋いでいただきたいと思います。
3	第2章3（２）イ②市町村に期待する役割の中で「身近な住民からの学習相談に対応する体制を整えるとともに、相談内容に応じて県の「学びの総合窓口」へつなぐことが期待されます」とありますが、県と市町村の相談内容の棲み分けはどのようになるのでしょうか。	「学びの総合窓口」の設置準備をする過程で、県と市町村の連携体制について検討していきたいと考えています。
4	第2章3（３）イ②市町村に期待する役割に「当該パスポートの情報（学習履歴やスキル）を活用し、その人材を地域での活躍の場につなげていくことが期待されます」とありますが、本市では令和5年度から独自の奨励ポイント事業を開始する予定であることから、「生涯学習パスポート」や「ジョブカード」との連携体制（ポイントの互換性など）について検討してほしい。	「生涯学習パスポート」や「ジョブカード」との連携体制について、今後検討をしてみたいと思います。
5	第2章3（４）ア②市町村に期待する役割に「地域課題に応じた企業や福祉等の幅広い分野との連携・協働体制のさらなる充実が期待されます」として、「地域学校協働活動」が特に明示されていません。文科省が提唱しているものの県内で導入が進んでいないことから、現状・課題や推進の方向性に記載があっても良いのではないのでしょうか。	県としては、地域課題に応じた企業や福祉等の幅広い分野との連携・協働体制の一つに、地域学校協働活動が含まれるものと考えており、幅広い分野との連携・協働体制のさらなる充実を図るため、市町村等への支援をしてみたいと思います。
6	地域社会での活躍につなげることに関連して、紙すきや竹籠などの伝統文化につなげるのはどうでしょうか。伝統文化の後継者がいないという問題があります。そのような分野もリカレント講座の中に入れてみるのはどうでしょうか。うまくいけば、技術の伝承にもつながってくるように思います。他にも生涯学習は間口が広いので、いろいろな取組ができると思います。	頂いたご意見は、今後、取組を進める中で、検討してまいります。
7	農業や水産業では人材不足が課題になっています。多様な学習機会の提供に関連して、関係機関と連携して、農業や水産業に関連する学習機会を設定し、人材の確保につなげていくのはいかがでしょうか。モデル化して広げていくとよいのではないかと思います。	頂いたご意見は、今後、取組を進める中で、検討してまいります。